

## 京都府 セーフコミュニティ ニュース

～地域力による安心・安全なまちづくりを目指して～  
第 12 号(平成22年12月1日発行)

京都府府民生活部  
安心・安全まちづくり推進課  
TEL075-414-4367 FAX075-414-4255  
E-mail:anshinmachi@pref.kyoto.lg.jp

### 京都府地域の安心・安全サポート事業所制度を開始!!

京都府では、平成22年10月1日に「京都府地域の安心・安全サポート事業所登録制度」を制定し、防犯・交通安全等の分野で、地域やボランティア団体と連携・協力して活動を行っていただける企業・事業所に『安心・安全サポート事業所』として登録をお願いしています。

それぞれの事業所において、実施可能な活動をメニューから選んでいただき、安心・安全なまちづくりに向けた取組に御参加ください。

詳しくは、次のアドレスから御覧ください。

<http://www.pref.kyoto.jp/anshin/jigyousho.html>

また、これに併せて、「京都府地域の安心・安全サポート事業所シンボルマーク」を募集、全国から応募いただき、選考の結果、右のとおり決定しました。

今後、各サポート事業所には、防犯・交通安全活動を行う際や自社の製品や広告等にシンボルマークを活用していただきます。



### 「京都府府民協働防犯ステーションニュース」創刊号を発行!!

京都府並びに京都府警察では、府民の皆さんとともに犯罪のない安心・安全なまちづくりを進めるため、地域の安心・安全に関わる様々な団体が、交番・駐在所を核に、警察・行政と連携し、地域の実情に応じた防犯活動に取り組む組織「京都府府民協働防犯ステーション（以下、ステーションと省略）」の設置に向けて取り組んでいます。

ステーションで活躍していただいていることを、府民の皆さんに広く知っていただき「輪」を広めたい、また、ステーションの皆さんとの親交を深めていきたいとの想いから、ステーションニュースを発行し、情報共有を図っていくことといたしました。

#### 主な内容

- 1 京都府府民協働防犯ステーションニュースの創刊にあたって
- 2 ステーション設置状況 府内42箇所設置（H22.9末時点）
- 3 ステーション活動の御紹介！
  - (1) 「割れ窓理論」実践運動編
  - (2) 「府民防犯旬間中」の街頭啓発編
- 4 トピックス ～「ヒヤリ・ハット情報」システムを年度内実施～

### 年末の交通事故防止府民運動はじまる!!

12月11日(土)から12月31日(金)までの21日間、「あわてんと ゆっくり 越しましょ 京の暮」をスローガンに、府内各地で市町村や警察等を中心に、広報啓発活動等様々な取組が実施されます。

#### ○運動重点

- ◇高齢者の交通事故防止
- ◇夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止  
(特に、反射材用品等の着用の推進)
- ◇全ての座席のシートベルト着用とチャイルドシートの正しい使用の徹底
- ◇飲酒運転の根絶



◎11月19日(金)、神奈川県厚木市が、京都府亀岡市、青森県十和田市に次いで、日本で3番目のセーフコミュニティの認証を取得、これを記念して、市民安心・安全フェスタ2010 in あつぎが開催されました。

8つの分科会や国際シンポジウム等盛りだくさんの内容で行われ、20日(土)に行われた全国セーフコミュニティ推進都市首長サミットでは、自治体ネットワークを構築する方向で検討を行うことで、合意されました。

これに先立ち、11月18日(木)には、厚木市立清水小学校が、公立小学校では日本初となるWHO(世界保健機関)セーフコミュニティ協働センターによるインターナショナルセーフスクールの認証を取得しました。

◎例年、年末から年始にかけては、交通事故が多発しています。特に昨年12月は交通事故死者が17人、今年1月には8人とたいへん多くの方が亡くなり、今年1月6日には、京都府交通対策協議会(会長:京都府知事)では、交通死亡事故多発警報を発令しています。

日没が早く、自転車や歩行者に対する視認性が低下するほか、年末から年始にかけては、飲酒の機会が増えます。自動車の運転に当たっては、一層の注意を払うとともに、飲酒運転を絶対にしない、させないよう努めましょう。また、自転車利用の際には、早めにライトを点灯しましょう。